

平成 31 年 2 月 8 日

行政書士事務所経営に関する講演会のご案内
「行政書士の生き残りをかけて」の講演に当たって

行政書士白門会の皆様

平成最後の年を迎え、会員の皆様方におかれましては、新たな気持ちで業務に取り組みまれておられることと思います。

さて、世の中は、産業構造のグローバル化、IT 化、AI 化により、各種の行政手続きは、申請者自身できるようになりつつあり、さらに、行政の規制緩和が一段と進捗している状況です。かかる社会情勢下において、平成 31 年 2 月現在の各士業の人数は、行政書士 4 万人超、社会保険労務士 4 万超、弁護士 4 万人超、税理士 7.7 万人の登録者があり、各士業の増加が著しい社会状況にあります。仕事の供給と各士業の仕事の需要が相反する事になり、行政書士事務所の経営は変革を余儀なくされています。

行政書士は、事務所の安定的な経営のためは、個人の依頼案件も行政書士業務として非常に重要な仕事ですが、会社等の団体とお付き合いする事が肝要と思われます。例えば、顧問契約を締結して継続的に仕事を受注できることになれば、事務所経営の安定に非常に役に立ちます。

そのためには、会社等の団体のトップが何を考え、悩み、我々士業に何を求めているのか、何を要求しているのかを行政書士（各士業）が認識している必要があります。

会社の代表取締役等の役員が、我々士業に求めているもの、ニーズ、そのニーズが分かり、これに対応して行く事により信頼を得ることができ継続的に仕事を受注できる状況が醸成されて来ると考えられます。そこで、会社の役員経験のある方に会社等の団体のトップが何を考え悩み、我々各士業に何を求めているのかをお話して頂たく思っていました。

今回、ご縁があり、大手企業で企業経営に携わられた清水照雄先生に経営者の立場から見た行政書士（他士業も含む）という視点で下記のとおり、鳥瞰的のみならず具体的なお話を拝聴し、今後の行政書士の営業のあり方等にヒントを頂くと同時に我々行政書士側からも質問を行い、テーマを深めたいと思っております。

ベテランの先生方、登録間もなく事務所経営の方向性を模索中の先生方にも是非参加して頂き、営業や事務所経営等に関して認識を深め、仕事や事務所運営が順調に発展する事を希望しております。

行政書士白門会 会 長 岸 伸晃
講演会担当 副会長 前田浩利
実務研究会担当 副会長 西野雅也
実務研究会総務 副会長 磯谷昌徳

記

1. 日時 平成 31 年 2 月 28 日（木） 午後 6 時開始（受付は午後 5 時 40 分）
講演約 1 時間 30 分程度 質疑等 30 分程度
2. 会場 中央大学駿河台記念館 5 階 550 号
3. 講師 TS コンサルタント 代表 清水照雄 様
経歴 株式会社 IHI（旧商号・石川島播磨重工業株式会社）物流システム部門システムエンジニアとして入社・物流システム部門部長・物流システム事業部長・執行役員・役員（常勤監査役）・関係会社代表取締役会長・株式会社 IHI 顧問を経て、TS コンサルタント代表に就任し、現在、経営コンサルタントとして活躍中です。
4. テーマ「行政書士の生き残りをかけて」
5. 参加費用 1,000 円
6. 懇親会 終了後に講師を囲み懇親会を実施致します。費用は 3,000 円から 4,000 円位を予定しております。場所は、蕎麦酒房 笹陣（お茶水店）となります。
7. 参加申込先 総務担当、磯谷 m.isogai@s6.dion.ne.jp のアドレスまでお願い致します。懇親会に参加される場合には、参加申し込みと共に懇親会参加の申し込みをお願い致します。

申込期限 平成 31 年 2 月 27 日（水）までをお願い致します。

8. 講師からの講演に当たってのメッセージ

「行政書士の生き残りをかけて」の講演に当たって

この度は、行政書士白門会の皆様にお話しする機会を与えていただきまして誠にありがとうございます。世の中の変化が激しく IT・AI 化のスピードが増す中で、士業の先行きは厳しくなるものと思われます。

日本の産業構造が 30 年前とは様相が一変した状況の中で、士業の方々の仕事は旧態依然としているように思われます。その中においても行政書士という一般社会に業務内容がそれ程浸透しておらず、行政書士だけではなく各士業が生き残るのは大変なことだと思われます。立派な資格を取ったのだから、行政書士の仕事の種類は 1 万と言われてはおりますが、個人事務所が出来ることには限界があります。

仕事は、受注しなければ何も始まらないというのは、大企業も中小企業も同様であり、また企業である限り黒字でなければ存続が厳しいことは、個人企業、個人事業主も同様であると思います。

「何のために行政書士になったのか」と原点に立ち戻って「何をすれば生き残れるのか」を皆様と一緒に考える短い時間が持てればと思っております。

企業人であった私も新入社員であった時代から昨年（43 年後）の顧問退任までにはいろいろな経験をさせていただきました。立場が変わった中で大きく変化したのは、物の見方・視点です。毎日の仕事が忙しい中で、5 年後、10 年後の自分のあるべき姿（目標）を考えることは大変とは思いますが、変革せずに生き残れないのも事実です。拙い講演になるとと思いますが、皆様にお会いできることを楽しみにしております。

清水照雄